

(3) 畑の<sup>はたけ</sup>仕事<sup>しごと</sup>

おもな作物のさいばいごよみ

[農協(JA)資料より]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
きゅうり				たねまき	なえの 手入れ	うえつけ	ついで	消どく	収かく			
トマト			たねまき	なえの 手入れ	うえつけ	ついで	消どく	収かく			畑のせいり	
いんげん			たねまき	なえの 手入れ	うえつけ	ついで	収かく				畑のせいり	
アスパラガス (一年目)				たねまき	土よせ							かりとり
アスパラガス (二年目)			たいひまき	収かく		ついで	消どく				かりとり	

畑では、たくさん<sup>さくもつ</sup>の作物をつくっています。畑の作物も、いねとおなじように、病気<sup>びょうき</sup>や虫<sup>むし</sup>の害<sup>がい</sup>から守<sup>まも</sup>るため、農薬<sup>のうやく</sup>をまいたり草をとったりするので、いろいろとたいへんです。

むかしは、作ったものは自分の家<sup>いえ</sup>で食<sup>た</sup>べるだけでしたが、近<sup>ちか</sup>ごろは商品<sup>しょうひん</sup>作物<sup>さくもつ</sup>として出荷<sup>しゅつか</sup>されるようになりました。とくに、きゅうり・トマト・いんげん・アスパラガスなどは、ほとんど出荷<sup>しゅつか</sup>されており、早くつくるためにビニールハウスでのさいばいなどのくふうも見られます。

また、土地<sup>とくち</sup>の特徴<sup>とくちょう</sup>を生<sup>い</sup>かして、しいたけ栽培<sup>さいばい</sup>や花づくり<sup>はなづく</sup>りに力<sup>ちから</sup>を入れているところもあります。

野さい<sup>のうきょう</sup>を農協<sup>のうきょう</sup>に出荷<sup>しゅつか</sup>している農家<sup>のうか</sup>は、収穫<sup>しゅくわく</sup>時期<sup>じき</sup>をできるだけ長くするために、また、規格<sup>きかく</sup>に合<sup>あ</sup>った作物<sup>さくもつ</sup>を作るために、いろいろな工夫<sup>くふう</sup>や苦勞<sup>くろう</sup>をして、より多くの収入<sup>しゅうにゅう</sup>をあげようと努力<sup>どりよく</sup>しているのです。